

平成25年度事務事業評価調査

整理番号	6	枝番	1
評価担当課	市立総合病院 診療部 診療情報管理科		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	道北北部連携ネットワークシステム整備事業			
総合計画の位置づけ	有	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
	無	主要施策	2	地域医療の充実
		基本事業	1	地域医療機関相互の連携強化
		実施計画事業	16	市立総合病院の整備

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	道北北部の4基幹病院の診療データの相互連携と救急トリアージ連携を基本として、さらに4病院からそれぞれの地域の医療機関とのネットワークを広げることにより情報の共有化と患者サービスの向上を図る。			
対象(何を又は誰を)	道北北部4基幹病院(稚内、枝幸、名寄、士別)とその周辺の地域医療機関			
手段=活動(仕事) (どのような方法で)	医療機関との連携をするネットワークシステムを導入設置することにより患者情報の共有化を図る。			
意図(どのような成果を期待しているか)	救急患者の遠隔トリアージや基幹病院と地域医療機関との情報の共有化による患者サービス向上。			
事業実施主体	名寄市を含む4基幹病院自治体			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他( )
事業実施期間	始期	24年度	終期設定	有(終期 24年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容		単位		H22	H23	H24	H25見込	目標年度 (26年度)
	1	2							
活動指標	1	ネットワークシステム導入予定数	式	目標			1		
		同 導入完了稼働数		実績			1		
	2	連携参加基幹病院予定数	件	目標			4		
		連携参加基幹病院数		実績			4		
	3	名寄病院連携医療機関数(中川~下川)	件	目標					14
		連携加入済医療機関数		実績					
成果指標	1			目標					
				実績					
	2			目標					
				実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H22決算	H23決算	H24決算	H25予算	平成24年度の事業費内訳
事業費	0	0	45,166	0	ビデオ会議システム 1398
国道支出金			27,753		情報ネットシステム(エアコネク) 32533
地方債			17,400		〃 (SS-MIX) 6814
その他					〃 (PACS接続) 483
一般財源			13		〃 (生理検査接続) 788
人件費	0	0	663	0	情報配信システム 3150
平均給与額	6,608	6,683	6,628	6,628	
担当職員数			0.10		
総事業費	0	0	45,829	0	
対前年比(%)	-	-	-	-	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	患者情報の共有化は、病診連携をすすめる上でより重要になってきている。
改善点	指摘事項 <input type="radio"/> 有 ( ) <input checked="" type="radio"/> 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 4	a	本事業は、総計実施計画搭載事業である。市立総合病院そのものの、機能を向上させることになるため市が主体となり実施すべきものである。
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？		
有効性 4	a	医療機関からの診療データを迅速かつ円滑に共有するためには、相互にネットワークシステムを構築するのが最も有効な方法である。
目的を達成するための方法として有効か？		
効率性 4	a	本事業の経費は主に補助金のため、コスト削減は困難である。類似事業はなく、統廃合する事業はない。
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？		
公平性 4	a	ネットワーク機器を当院に設置する事業であり、疑念の余地はない。
受益者負担は適正か、受益者に偏りがはないか？		
達成度 4	a	予定どおりネットワーク機器の設置が完了し、稼働開始しております。4基幹病院それぞれの地域医療機関を連携病院として今後登録拡大していきます。名寄病院エリア(中川～下川)では、14医療機関があり、全医療機関の登録を目指す。
活動指標、成果指標の達成度は？		

5 1次評価

評価結果	理由	
A	ネットワーク機器の設置が完了し、稼働開始している。4基幹病院それぞれの地域の医療機関を連携病院として登録拡大していく。	
A: 現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B: 進め方を改善		
C: 規模・内容を見直し D: 抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	一次評価のとおり。

7 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	ネットワークが確立・稼働しており、道北北部の4基幹病院の診療データの相互連携と救急トリアージ連携を行っている。今後は地域医療機関を連携病院とする登録の拡大を図る。